



記述された技術を正確に実行できる場合は、全てチェックを入れてください。 チェックが無い箇所がある場合は、セルフダイビングに参加することができません。

水面		準備&計画		
	落ち着いてBCDへ給気 オーラル(口から)でBCDへ給気 緊急時にウエイトを捨てる ウエイト脱・装着 スクーバユニット脱着 疲労ダイバーの曳航25m	器材 ハン 海沢 バデ 器材 (プレ 緊急	ドシグ と場所 イと自 、海沢 ノダイ! (手順)	ディング&調整 デナルを使って意思の疎通 所を判断して潜水計画を立てる 分の技術を考慮した安全な範囲で潜水計画 と、体調を含めた、潜水前に全ての安全確認 ブセーフティーチェック) の確認 区域(航路)と帰りの進路を確認
水中			. 77 . ILL	△次 (別に四) ○7中 ノマノに四・と7年記
	適正ウエイトの理解&実行マスクが外れても落着いて着用後、マスク無し呼吸で1分以上水中を泳ぐレギュレタークリアー2種レギュレータリカバリー手足を使わずホバリングオーラル(口から) B C D に給気して中水中を水平にゆっくり泳ぐ中層で水平姿勢を無理なく維持着底せず、水底から1mの水深をキーフ	性浮力		スクーバユニット脱着 ウエイト脱着 こむらがえりの除去、自分とバディ シグナルフロートを水面で立てる 水面&水中のコンパスナビゲーション 残圧50気圧残して浮上 自分のバックアップ空気源で呼吸 バディとバックアップ空気源を使って浮上 緊急スイミングアセント フリーフローしたレギュからの呼吸
B	ガイドロープを使用せずに、いかなる水深からも安全なスピードで浮上 ガイドロープを使用せずに、圧平衡をしながら潜行し、着底せずに中性浮力がとれる			
チェックボックスにチェックを入れることで、下記文章に同意したことになります。 文章をよく読み、理解をした上でチェックをお願いします。 上記以外のことでも、WRSTC 基準に沿った OpenWater 技術と知識の全てを習得済みで、 この書面に記入をした日付の時点で、全ての技術を正確に実行できることを声明します				
この書面は一年に一度の更新ではあるが、 毎回のセルフダイビング申込みの直前には必ず、自分とバディの知識と技術が 安全に潜水できる水準に達しているかを、自己の責任の元で判断をする必要があることを認識しており、 OpenWater で習得した知識と技術に自信が無い場合や(身体的、精神的な理由を問わない) 正確に実行できない技術がある、またはありそうな場合も、滞りなく申告しダイビングを中止するとともに、 セルフダイビングをする前に、必要な知識を復習して、 全ての技術を正確に実行できるようになってからセルフダイビングをすることを声明します				

月 日 ご署名

年